



糸島市立雷山小学校
12月号 校長 田中 健悟
令和4年11月30日

メディア学習 ～子どもたちの脳・体・心を守るために～

現在、SNSに関する人間関係のトラブルは、全国の学校でも起きており、保護者にも内容が見えにくい、人権侵害やいじめ等の重大事態に発展しかねません。また、犯罪や著作権の侵害に巻き込まれるなどの危険性も多く潜んでいます。

ネットゲームに関しては、生活習慣や言葉の乱れ、依存症や学力への影響など、様々な問題が指摘されています。

そこで、5・6年児童を対象に、専門家からインターネットの適正利用について学ぶ「メディア学習」を毎年実施しており、本年度は11月9日に実施しました。配付資料の中に、『『あの人・あのお店、気に入らない』と軽い気持ちで投稿した攻撃的な言葉（誹謗中傷）が、名誉毀損や侮辱罪になることもある』と記載がありました。

最近、グループLINE等で、「何で〇〇せんと、ウザい」「あいつ〇〇して、キモい」などの表現をつい使ったり、それに対して「私もそう思う」と同意する言葉を軽く返信したり、「誰々が誰々のことをウザいって言っていたらしいよ」などと噂を流したことをきっかけに、集団での仲間外しやいじめにまで発展する事案が、全国的に起きているようです。

一方、「ゲーム依存」も全国的に深刻な問題となっており、その多くが「ゲーム障害」という報告もあるようです。「ゲーム障害」は、「ゲームに熱中し、利用時間など自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障がでる病気」とされており、WHO（世界保健機構）が、2019年に「ゲーム障害」を新たな病気として、国際疾病分類に加えています。

ゲーム障害が起きると、「理性」をつかさどる脳の前頭前野の働きが悪くなり、「本能」「感情」が優先され、日常の活動よりゲームを優先する、他のことに興味を示さなくなる、注意すると激しく怒る、暴力的な言葉や行為につながるなどの悪影響が報告されています。特に、小中学生では短期間で重症化しやすい傾向がみられるとされており、ルールづくりや継続的な指導が必要です。

年々、SNSの利用の低年齢化が進んでいますので、深刻な事態に陥らないよう、SNSの危険性とルールづくりについて、御家庭でも是非、指導・管理をお願いします。

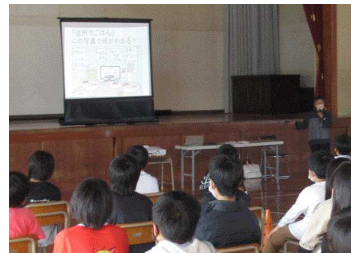
新型コロナウイルス感染症対策の徹底のお願い

新型コロナ感染が徐々に増え、第8波に入ったとの報道もあり、対策を継続します。

- 風邪や発熱等の症状が見られた場合は、学校に連絡の上、自宅で休養をお願いします。
- 同居家族に風邪や発熱等の症状が見られた場合は、極力、登校を控えてください。
- 学校で風邪や発熱等の症状が見られた場合は、早退となるため、お迎えをお願いします。
- 児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合、学校へお知らせください。

※児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合等、児童は「出席停止」扱いとなります。

※人権保護の観点から、感染者が非難されるようなことのないよう配慮をお願いします。



12・1月の主な予定 ※感染状況により変更となる場合があります。

12/1(木)	糸島市教員統一研修(給食後下校)	12/16(金)	クラブ活動(4~6年)
12/2(金)	招待給食 委員会活動(5・6年)		クラブ活動見学(3年生)
12/5(月)	英語ウィーク(～12/10)	12/20(火)	スキルアップタイム(全学年)
12/6(火)	スキルアップタイム(全学年)	12/23(金)	冬休み前最終登校日(5校時まで)
12/7(水)	標準学力テスト(全学年) 租税教室(6年生)	1/10(火)	冬休み明け登校開始日(5校時まで) 英語ウィーク(～1/13)
12/10(土)	土曜授業(体育運動発表参観) PTA講演会(保護者研修会)	1/13(金)	委員会活動(5・6年)
		1/17(火)	スキルアップタイム(全学年)
12/13(火)	学校運営協議会サポート委員会 全校一斉下校(5校時終了後下校)	1/24(火)	オンライン英会話学習(5・6年生)
		1/27(金)	新1年生入学説明会

※冬休み期間(12/24～1/7) 登校開始日(1/10) ※冬休み明けも「自主登校を継続」します。

児童会活動 ～言葉遣いを見直そう「ふわふわ言葉」の取組～

11月14日(月)～11月30日(水)に、今年度も児童会活動として、全校で「ふわふわ言葉の取組」を行いました。「ふわふわ言葉」とは、「相手にかける優しさや思いやりが含まれた言葉」のことです。今年度の「めあて」は、「ちくちく言葉(「うざい」「きもい」等)を使わずに、みんなが『ふわふわ言葉』を使う、雷山小学校にしていこう。」でした。

取組の期間中は、総務委員会の子どもたちが中心となり、各学級の中で実際に発せられた「ふわふわ言葉」を廊下に掲示したり、全校放送で紹介したりして、全校に広めました。

また、全校放送では、総務委員会から毎日、次の大切なメッセージが伝えられました。

『同じ言葉を使っても「嫌だな」と思う人と思わない人がいます。「嫌だな」と思う人に、その言葉を使うのは、攻撃していることと同じです。言葉についてみんなで考えていきましょう。』

各学級では、無くしたい「攻撃性のある嫌な言葉(ちくちく言葉)」の共通理解を図ることに取り組みました。ある学級の例を紹介します。

ウザい、キモい(キショイ)、ダサイ、ざこ、ゴミ、クズ、クソ、バカ、アホ、まぬけ、黙れ、消えろ、調子のんな、いきんな(粋がるな)、しばくぞ、くさい等

これらは、相手を排除したり、見下したり、存在否定につながる攻撃的な言葉です。

現代社会においては、様々なメディアで、相手の行為を強く批判するため、あるいは、自分の発言や存在に周囲の関心を向けさせるために、敢えて「攻撃的で過激な言葉や表現」を選んで用いる傾向が強くなってきているとの指摘があります。時代とともに変化する言葉・表現の中には、悪影響を及ぼす言葉も含まれており、特に子どもは影響を受けやすいため、「受け取る側に嫌な感情をもたせない言葉」「攻撃性のない言葉」を選んで使う教育が、学校でも家庭でも必要だと考えています。御家庭でもこの期に、話題にさせていただき、必要に応じて指導をお願いします。

雷山文化まつり 誠にありがとうございました

感染防止対策を踏まえた上で、3年ぶりに校区「雷山文化まつり」が開催されました。様々な体験の場があり、子どもたちの笑顔からも、とても有意義な文化まつりであったと感じています。地域やPTA保護者の皆様には、子どもたちに活躍の場を与えていただいたこと、また、子どもたちの教育や楽しみのため、様々なイベントや文化的・芸術的な作品を準備していただいたこと大変感謝しております。誠にありがとうございました。(右写真:勾玉づくり)

